

研究 Report



No. 1 令和3年6月 池袋本町小学校

今年度より池袋本町小学校では、「共によりよい生き方を求める児童の育成—「考え、議論する道徳」の授業づくりを通して—」を研究主題に定め、道徳科の研究に取り組んでいます。この主題には、児童に自分自身のみならず、相手意識をもった「よりよい生き方」について考えてほしいとの教員の願いが込められています。副主題は、道徳科の授業研究を通して、児童の変容を見取ることを研究の中心に置いていることから、「**「考え、議論する道徳」の授業づくりを通して**」としました。

研究を進めるにあたり、先日、児童の実態を把握するために実態調査アンケートを行いました。その結果から見えた児童の実態と教員の願いを踏まえ、今年1年研究を進めてまいります。今後、1学年につき1回ずつ研究授業を行う予定です。今回の研究 Report では、第1回目の6年3組の栗本学級の研究授業の様子をお知らせします。

- 1 講師 豊島区教育委員会指導課 統括指導主事 丸山 順子先生
- 2 主題名 「理解し合うために」(B-11 [相互理解, 寛容])
- 3 教材名 「みんな、おかしいよ」
- 4 授業内容



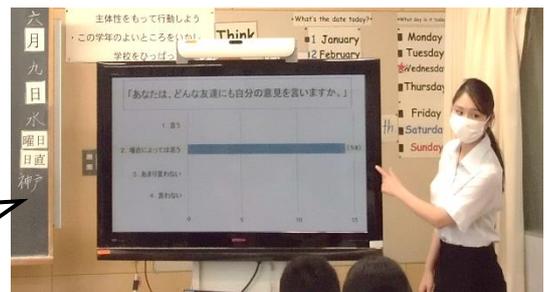
【本時の目標】

相手と理解し合うために、広い心で相手の気持ちや立場を理解し尊重しながら、よりよい関わり方について主体的に考えようとする態度を育てる。

【主な学習活動】

導入

事前アンケートの結果から、どんな友達にも思っていることを伝えているかどうかについて、学級の実態に触れました。



展開前段

読み物資料「みんな、おかしいよ!」を読み、
○登場人物2人の共通点(心情)と相違点(行動)は何か。
○自分だったら、相手のきつい言い方について、本当に思っている気持ちを伝えるかどうか。(主発問)
について、今の気持ちを数値化して表す「**心のものさし**」を活用して、考えたことを話し合いました。

展開後段

自己の振り返りでは、
○相手と理解し合うためには、どのような態度が大切か自分の考えを書きましょう。
・それぞれの考えがあることを理解し、大切にすること。
・相手の考えや意見を、まず聞く。
・思いやりの心をもつ。その上で、相手への伝え方を工夫すること。
などの考えが出ました。



終末

相手の気持ちや立場を理解し尊重しながら関わるのが重要であるとの話を聞き、相手と理解し合うために大切な態度について考えを深めました。

